

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 岐阜県立多治見工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)

2 開催日時 令和4年10月25日(月) 13:30~15:30

3 開催場所 多治見工業高等学校 会議室

4 参加者

会長	鈴木亜紀子	市青年会議所理事長
副会長	樋口 正和	同窓会役員
委員	加藤 亨	明和工業株式会社管理部長
	山本 博子	Mamas' Cafe
	松村 敦子	養正公民館館長
	齋藤 哲弥	地域代表
	倉地 晴幸	前育友会長 (欠席)
	市川みづほ	育友会副会長

学校側	中田 卓生	校長
	松岡 千年	教頭
	永瀬 雅彦	事務長
	青山 知喜	教務主任
	加藤 龍輔	生徒指導主事
	小池 勉	進路指導主事
	和田 正行	工業部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校運営について(各分掌より説明)

①教務部 学校生活全般・学習・学校行事等について 他

意見1: 3年生の対応がしっかりとされていて、学習内容をうまく伝えようとする姿勢がみられる。コロナウイルス感染症対策のため学校行事を実施するかどうかの判断が難しいと思うが、学校に近いところから進めて言うてはどうか。

→今年度は、学校祭は保護者のみの参観であったが、今後は中学生まで広げていきたい。一日入学やオープンキャンパスキャンパスについては、コロナウイルス感染症対策を万全にして実施した。卒業制作展は、通常通り一般の方も含めて広報し、バロー文化ホールで実施する予定である。

②生徒指導 生徒の様子、いじめ防止などについて 他

意見1: 生徒同士、教員と生徒が仲良く話している。少し前は、かなり乱暴な生徒もいたが、最近はおとなしい生徒が多い。挨拶はしっかりとできていて気持ちが良い。

→元気があって、高校生としてふさわしい礼儀を理解した社会に求められる生徒を育てていきたい。

③進路指導 今年度の進路状況について 他

意見1：高校生が多く離職しているという話があるが工業高校ではどうか。

→卒業後3年間での離職率を全国的にみると30%ほどといわれているが、工業高校は17%と低い。本校の離職率は10%程度である。

④工業部 工業部の取組について

意見1：学校行事について、「昨年度までにコロナ禍によって減ってしまった行事を今年度は戻していきたい」という方向性から、徐々に行事が戻っているが、学校祭は保護者の参観に止まっている。コロナ感染症対策は必要ではあるが、もう少し広げることはいかないか。

→教務部からもあったように、対策を万全にして進めていきたい。

意見2：昔の工業高校とは違い、PCなどを使った新しい実習が進められている。時代に即した工業教育を推進して欲しい。

→従来までの技術を付けさせる教育も大切にしつつ、PCなどの新しい知識と技術を確実に付けさせていきたい。

⑤その他の事項について

意見2：先生は働きすぎといわれているが、教職員の働き方改革については進められているか。

→実際のところ、労働時間が長い教職員がいるので、会議などの削減などを手掛けている。しかしながら部活動などで休日に出勤せざる負えない状況もあるので、長期休暇を中心に年休を取ってもらうよう声掛けをしたい。

6 「学校評価アンケート」について

意見：概ね良好な結果であるのでさらによくするようにしてください。

7 規定の改正及び廃止の手続きについて（生徒指導部）

意見：就職との兼ね合いもあるが、生徒が自主的に守ることができる規定にすることが望ましい。今回の改定のように、生徒自身で改正できることが上げられていることは評価できる。

8 会議のまとめ

今年度は、第1回学校運営協議会に続いて第2回も対面で予定どおり実施することができた。また、「学校評価アンケート」については良好な内容で、委員から評価を得られた。

会議前、3年生電子機械科と電気システム科の実習を見学した。第1回はセラミック科とデザイン科の実習を見学したので、全学科の成果を見ていただくことができた。第3回では、3年生の「課題研究発表会」を見ていただく予定である。